

## 四国中央市ボランティア市民活動センター 令和4年度 事業計画書

### 【今年度のテーマ】

持続可能な活動に向けた支援

### 【方策毎の実施計画】

#### その1 ボランティア市民活動センターのプロモーション

##### ●4代目ボラ7

☞現在23名（三島高校15名、土居高校3名、川之江高校5名）

主催イベント『しこちゅ～すまいる☺ フェスティバル2022』の開催が決定

日程：12月11日（日）10：30～14：30 場所：市民交流棟

##### ●ボラ7通信の発行（年間4回）

☞ボラ7が市内のボランティアやイベント等取材して原稿作成 ※次号は10月号

##### ●ホームページ、市報、コスモステレビ等での各種情報発信

##### ●画像共有アプリ Instagramによる情報発信 ※ボランティア、イベント、まちの魅力など

##### ●ボランティア意識調査 ※インターネットでのアンケート実施を検討

☞一般市民、登録団体、企業、高校生を対象に実施

#### その2 ボランティア市民活動を行うためのきっかけづくり

##### ●ボランティア市民活動研修会

	月日	研修内容	講師
第1回	7月28日（木）	外から見た四国中央市	地域おこし協力隊 大廣 将也 氏
第2回	8月4日（木）	ワクワクする ボランティア事業の作り方	法皇青年会議所 横内 博之 氏
第3回	8月18日（木）	<p>【第1部】 岩村由香里の リラックスハンドセラピー</p> <p>【第2部】 笑いの力</p>	<p>【第1部】 心と身体健康ヒーリング fromしこちゅ～ 岩村 由香里 氏 福濱 りか 氏</p> <p>【第2部】 四国中央市笑いヨガボランティア (笑いヨガティーチャー) 鈴木 孝子 氏</p>

時間：13時30分～15時

場所：市民交流棟 2階会議室

定員：各回30名程度

## ●ボランティア養成講座

	日時	研修内容	講師
第1回	9月28日(水) 13時30分～16時	市民と取り組む協働のSDGs	四国中央市政策推進課みらい創造室 合田 充雄 氏
第2回	10月5日(水) 13時30分～15時	若年層を対象とした シティプロモーションについて	四国中央市政策推進課みらい創造室 篠永 友洋 氏
第3回	12月15日(木) 13時～15時30分	傾聴ボランティア養成講座	産業カウンセラー 加地 初美 氏
第4回	12月22日(木) 13時～15時30分	傾聴ボランティア養成講座	産業カウンセラー 加地 初美 氏

場所：市民交流棟2階会議室

定員：各回30名程度

## ●ボランティア学習

市内の学校において、障がいへの理解を目的に福祉学習を継続して開催することで、子どもたちが持っているボランティア精神を引き出し、活動への自主性の発掘に努める。

## ●災害ボランティア研修会（案）

日時：令和5年3月中頃

内容：実際に被災地支援を体験した方などを講師として招聘し、講演会を実施予定。

市民が災害に対し危機感を持ち、平時からの備えの重要性を考えるきっかけとしたい。

## その3 支援体制の充実

### ●ボランティア市民活動交流会（案）

日時：令和4年12月11日（日）10：30～14：30

→しこちゅ～すまいる☺フェスティバル2022と同日開催

場所：市民交流棟 2階

内容：団体同士の交流・しこちゅ～すまいる☺フェスティバル2022でのステージ発表など

### ●ボランティアへの場所・設備の提供

市民交流棟の会議室やセンターに設置している機器を提供することによりボランティア市民活動の支援を行う。

### ●霧の森夏フェス

（株）やまびこ主催の霧の森夏フェスでの登録ボランティアの参加支援を行う。

### ●ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、安心して活動出来るようにボランティア保険の加入促進を図る。

## その4 企業ボランティアの推進

### ●企業ボランティアの登録促進

☞多種多様な社会のニーズに幅広く対応できるように、様々な業種の企業登録を進める。

(令和4年7月末日現在)

1	三星道路(株)	8	四国中央医療福祉総合学院
2	(株)カナエ	9	株式会社パレット
3	日新火災海上保険(株)	10	アイエン工業株式会社
4	(有)川滝運送	11	デイサービスセンターかわのえ
5	(株)伊予銀行三島支店	12	ミココロヤ
6	井原工業(株)	13	宇摩森林組合
7	松本コンサルタント 四国中央支店		

### ●企業ボランティアの活動の場を創出

SNSなどの情報発信ツールを活用し、ボランティア情報を求めている企業に対して新鮮な情報を提供することで活動の場を創出する。

### ●ボラ7による企業ボランティアの取材と情報発信

ボランティアに取り組む企業の取材と情報発信をボラ7が担い、高校生ならではの視点で同世代に企業の魅力を発信することで、若者世代が市内の企業を知る機会とし、若者の地元定着の一手としたい。

### ●災害ボランティアのネットワークづくり

災害時での、登録ボランティア・企業・NPOなどのネットワークの構築。